

平成 30 年度
豊田中学校
第 3 学 年
学 年 通 信

志を胸に、新たな一歩を踏みだそう！
We want 優
私たちは「優しさ」「優秀さ」「you(あなた)」がほしい！

5月29日
第8号
文責 杉田 直樹

5月17日（木）に中間テストがありました。3年生にとっては、受検に直結するテストでもあり、適度な緊張感をもって臨めていたのではないかと思います。採点をして気付いたことは、分からない問題を空欄のまま済ませるのではなく、何とか正解に結び付くように自分の考えを粘り強く書くなど、一人一人の、“今年は頑張ろうと思っています！”と声が聞こえてくるような答案が多かったです。

さて、早いもので期末テストまで約2週間となりました。磐周大会が種目によっては、6月23日（土）から始まるためです。1学期は、まだ1ヶ月以上あるものの、期末テストまでは残された時間はとても短いです。今回の反省を生かし、期末テストでも自分の実力が発揮できるように願っています。

以下、相対度数分布表と、各教科担任からのコメントを載せておきます。参考にしてください。

【国語】

得点	人数	10	20	30	40	50
50	0 (0.0)					
40- 49	20 (16.4)					
30- 39	54 (44.3)					
20- 29	33 (27.0)					
10- 19	11 (9.0)					

【数学】

得点	人数	10	20	30	40	50
50	1 (0.8)					
40- 49	33 (27.0)					
30- 39	30 (24.6)					
20- 29	29 (23.8)					
10- 19	14 (11.5)					

【英語】

得点	人数	10	20	30	40	50
50	0 (0.0)					
40- 49	19 (15.6)					
30- 39	38 (31.1)					
20- 29	36 (29.5)					
10- 19	24 (19.7)					
0- 9	5 (4.1)					
対象人数	122人(100.0)	平均点 27.9 最高点 49				

【社会】

得点	人数	10	20	30	40	50
50	0 (0.0)					
40- 49	30 (24.6)					
30- 39	39 (32.0)					
20- 29	22 (18.0)					
10- 19	20 (16.4)					

【理科】

得点	人数	10	20	30	40	50
50	0 (0.0)					
40- 49	20 (16.3)					
30- 39	38 (30.9)					
20- 29	37 (30.1)					
10- 19	20 (16.3)					

【5教科】

得点	人数	10	20	30	40	50	60
250	0 (0.0)						
200- 249	15 (12.3)						
150- 199	50 (41.0)						
100- 149	31 (25.4)						
50- 99	18 (14.8)						
0- 49	8 (6.6)						
対象人数	122人(100.0)	平均点 144.2 最高点 226					

平成30年度 1学期中間テスト反省 各教科の先生より

国 語	平均点が高く、全体的によくできていました。授業で学習した「春に」と「握手」の問題は、「国語の学習」から多く出題しましたので、ワークブックを用いてしっかりテスト勉強した人が多かったということでしょう。 しかし、2年生までの学習の復習として出題した文法や古文の問題では、学習内容の定着の甘さが見られました。動詞の「活用の種類」と「活用形」や、形容詞と形容動詞の見分け方を忘れてしまっている人が多かったのが残念でした。また、古文の読み取りにも苦戦したようです。「この僧、医骨もなかりけれ<u>ば</u>」の現代語訳は、「<u>ば</u>」の訳し方がポイントです。2年生の「徒然草」の「仁和寺にある法師、年よるまで石清水を拝まざりけれ<u>ば</u>」の<u>ところ</u>を訳したときの経験を生かすことができれば解けた問題です。数か月後の入試を見越して、こうした実力問題にも対応できる力を付けてほしいと思います。 直前のテスト勉強は、もちろん欠かせません。でも、それ以上に、日々の授業で人任せにせず、主体的に学習課題に取り組むことが大切なのだと思います。そして、分からないことは放置しておくことなく、その都度解決していくようにするとよいと思います。サイドブックも有効に活用していきたいですね。
社 会	地理の地形の問題は、多くの人が良い結果を残すことができました。事前にどこから問題が出るかわかっていたので勉強はしやすかったと思います。ということは、皆さんはやればできるということが証明されたと思います。一方で歴史的分野だけを切り取って結果を見てみると、基本的な部分であるにもかかわらず、押さえが甘い部分がありました。(三国協定の三つの国が押さえられていない、など)テスト勉強はもっと基礎的な部分を繰り返し行くと良かったと思います。そこでアドバイスですが、昔ながらの単語カードを生かした勉強法をおすすめします。覚えたい社会科の単語を書き、裏面にはその説明を書きます。単語を覚えられただけでなく、逆引き辞典のような使い方もできます。ぜひ作ってみてください。
数 学	テストを採点していて感じた3つのことは、【①“今年は頑張りたい”という一人一人の気持ち。②3年生の計算の基礎である展開、因数分解をほとんどの人が習得できている。③根拠を明らかにして説明することは相変わらず苦手。】です。ただ、②については、やや発展的な“いろいろな計算”の問題は、正答率が低かったです。例えば、『$(x-5)(x-2)+2$ を因数分解しなさい。』の正答率が31%でした。<u>基本的な形から、少し変形しているだけで</u>、教科書の計算練習のページにある問題です。入試を意識し、教科書とは少し違う形、“類題”を解きましょう！それにより、メキメキと実力がつくと思います。 毎日の授業の中で、“なぜ？”という問いをもち、“分かった！”と感じられるまで、たくさんつぶやいたり、発表したりしましょう！また、分かったことを他の人に説明できるように、根気強く取り組みましょう！
理 科	今回は、1, 2年生の範囲からの出題となりました。平均点から見れば、まずまずの理解度だったと思います。自習室や、全国学力学習状況調査の問題からは、そのままの出題でしたので、事前に取り組んであった人にとっては、確認問題となったのではないのでしょうか。3年生は、これから受検に向けても、学習を深めていく時期に入ってくると思いますが、今の学びは、受検で終わるものではありませんし、定期テストで確認される学力は、狭い意味での学力(知ってる知らないを問うもの)を中心としたものでしかありません。何のために今、これを学んでいるのか。これからの自分の人生や、自分が生きる社会にどう関わりがあるのかという視点で、点数の善し悪しに一喜一憂するのではなく、学びを深めていってください。『すべての学びは「志」に通ず。』です。とはいっても。。。1年生の質量パーセント濃度の問題は、正答率が16%程度でした。あまりにできていないように思います。もう一度復習しておくとういでしょう。
英 語	テストを経て、今一番大切なのは、結果をこれからの学習にどう生かすかです。テストで書けなかった英文や知らなかった事項はチェックしましたか。今日からのライティングはそれを練習しましょう。特に、5. 6の表現の問題は、自分事として必ず書けるようになりたい内容です。日記の練習をライティングの中で継続しましょう。 テストには、授業を通して身につけてほしい内容が網羅されています。授業の中で「言えるようになること」、そして家庭学習で「書けるようになること」。この繰り返しをすることで力がついていきます。まずは、授業でたくさん英語を使いましょう。大きな声で練習しましょう。1時間の授業の後には、少し疲れるくらいがよいです。英語は実技教科ですから。 では、皆さんの学びがさらに高まるように、健闘を祈ります。Good luck !

先生方のコメントを読んで、どう思いましたか？先生方は、あなたの方の大応援団です。今回、思うような結果が得られなかった人、先生方のアドバイスを本気で読んで、自分のこれまでの学習を変えてみませんか？3月に、花を咲かせられるように、例え今、花が咲かなくとも、しっかりと根を張りましょう！